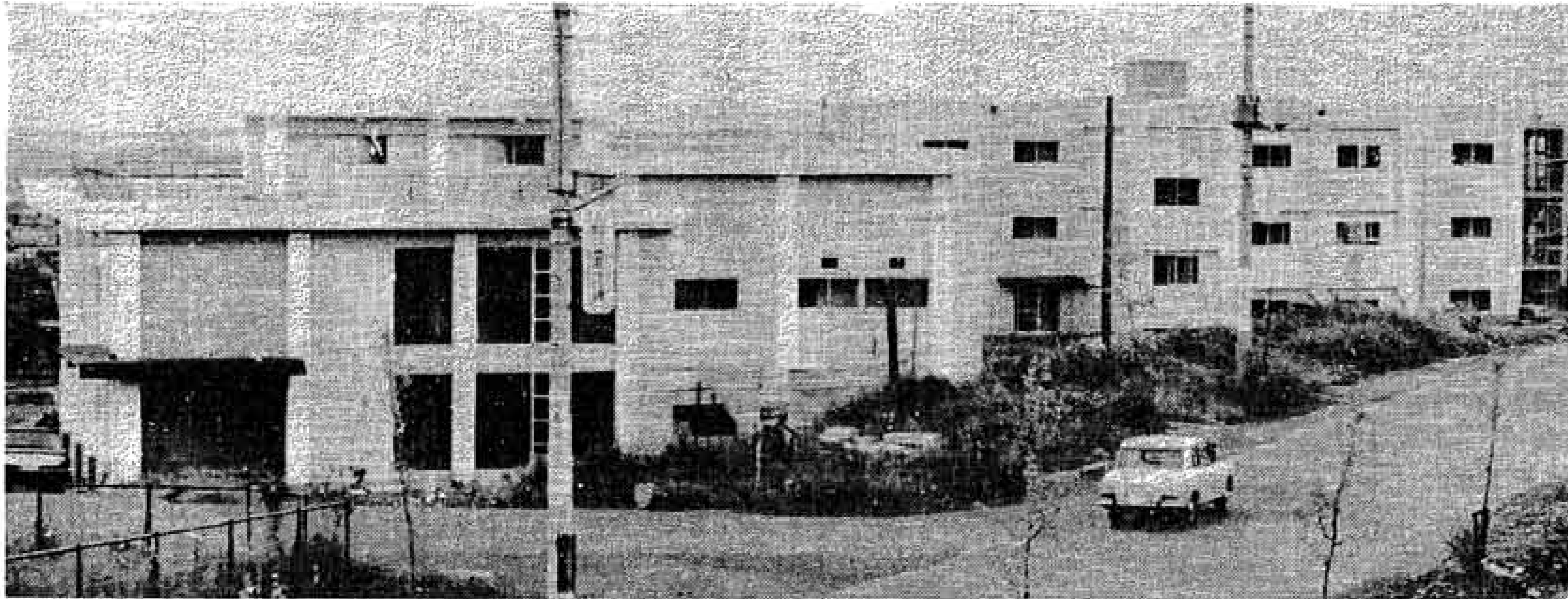


(9月1日現在)

男	85,697
女	83,279
合計	168,976
世帯数	40,585

全世帯配布



勤労青少年会館もう開館

働く青少年が、仕事のあとや休日を楽しく有意義に過ごすためにつくられた施設で、各種のサークル活動に利用できます。施設の内容は、テレビ、囲碁、将棋を備えた娯楽談話室、静かな雰囲気での読書のできる図書室、卓球やフランクダンス、映画、講演などができる休

勤労青少年ホーム

勤労青少年会館が近く完成します。会館は働く青少年のオアシスとして広見町に総工費八千万円で今年一月から建設されてきたもので、ホームと寮が併設されている県下の初施設です。

勤労青少年会館は、中小企業に働く若者がサークル活動を中心とした余暇の有意義な利用を指導するとともに、市外から就職してきた若年労働力の定着をはかるために建てられたものです。

ホーム利用寮生募集

県下で初めての施設 吉原

勤労青少年寮

勤労青少年寮

勤労青少年寮

勤労青少年寮

勤労青少年寮

公害を追放しよう 防止月間(10月15日)設ける

富士市、富士宮市、芝川町で組織する富士地区公害対策協議会(会長斉藤市長)は、九月十五日から十月十四日までを「公害防止強化月間」に定め、わたしたちの町から公害をなくすための運動を展開してまいります。

運動期間中は、ポスターとパンフレットを関係者に配るほか、公害基本法を中心とした講演会や映画会を行います。

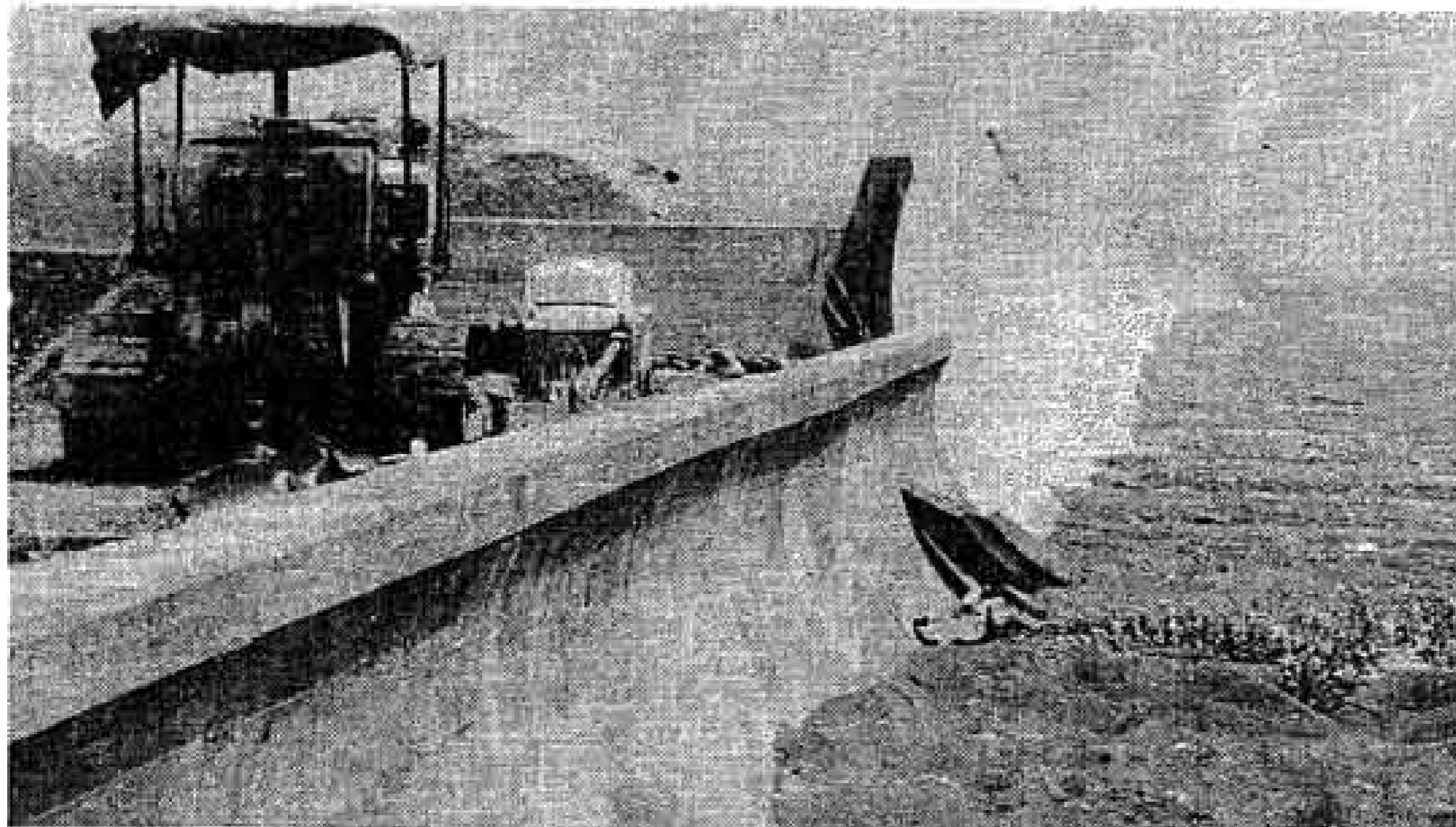
また、市は公害対策所を対象に、一日公害管理者を設け、ばい煙、悪臭、騒音、排水などの実態調査を行ない公害一掃の資料としていきます。

また、市は公害対策庁内連絡会議を設け、公害が発生した場合に

水質の汚濁、騒音、振動、悪臭などによつてわたしたちの生活がおよびやかされる恐れのあるときは、富士分館開館の連絡をします。

発案(電六一二二三〇)へ連絡をしてください。開館は、みなさんの連絡があればすぐに調査をします。

富士地区公害対策協議会・富士市・富士宮市・芝川町

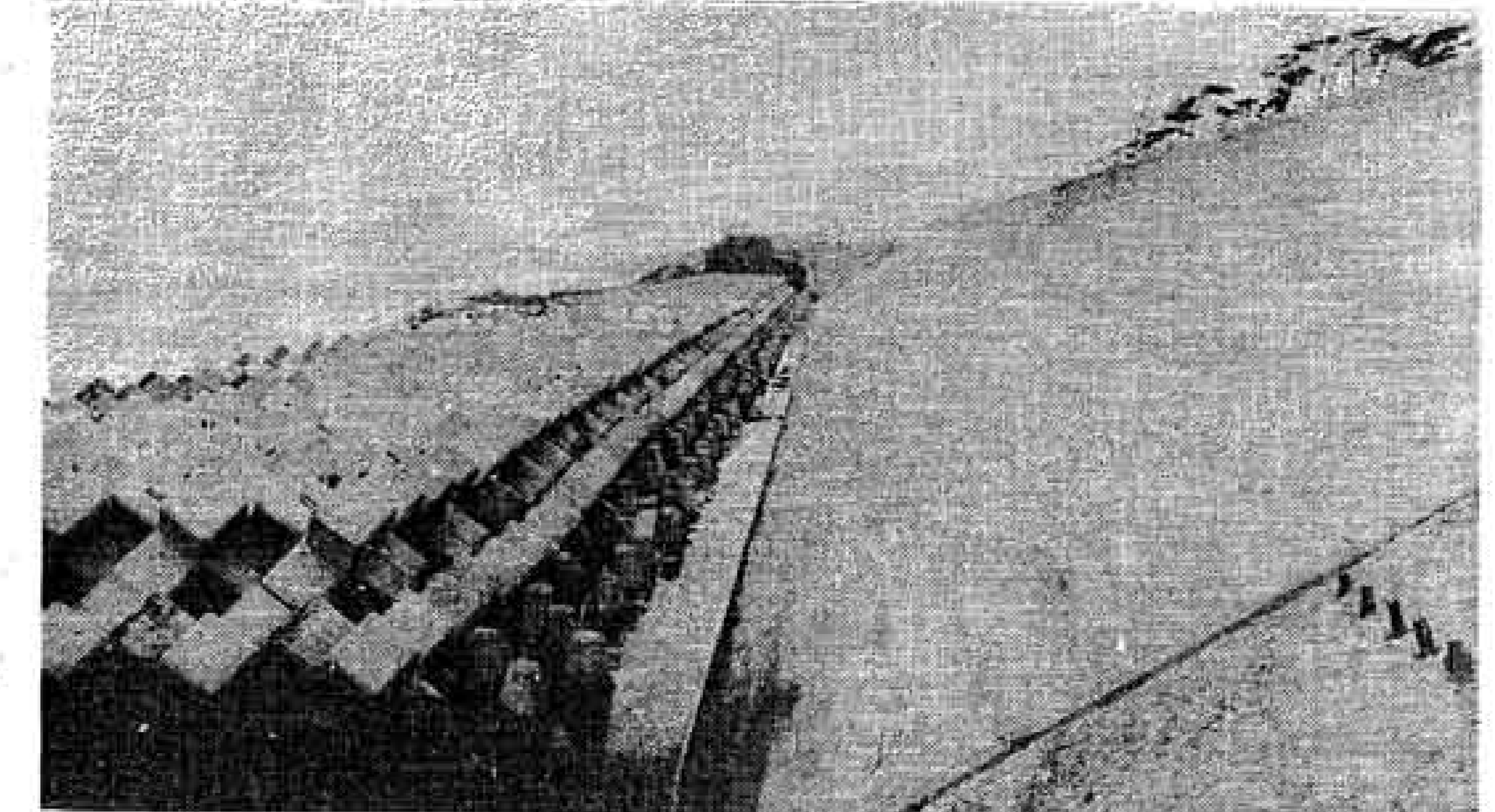


鈴川海岸

昨年の台風26号で死者18人、家屋の全壊31戸、半壊53戸の被害を出した元吉原地区で、このほど防潮堤のカサあげ工事が完成しました。これまでの高さは13.2メートルで、これを15.2メートルにしたもの。工費は6000万円。今後の計画は、港から沼津までの延長約20キロメートルを国の直轄事業に指定し、工費82億円で17.2メートルにカサあげする工事が近くはじまります。第2堤防はことしから5年計画で、海面から14.2メートルの高さに今井東町近くから東へ約5キロにわたつてつくられます。

三四軒屋海岸

富士地区の台風26号による被害は、死者2人、全壊40戸、半壊216戸にのぼりました。とくに三四軒屋は防潮堤が355メートルにわたつてくずれ、大きな被害を出しました。この復旧工事が工費1億1000万円でのほど完成しました。新堤防の高さは鈴川海岸と同じ15.2メートルです。今後の計画は、県が港から富士川河口までの約4キロメートルを、工費14億6000万円で、昭和45年までに17.2メートルにカサあげします。



すすむ防潮堤工事